

溜まり水のあるトレンチ等の対応状況について

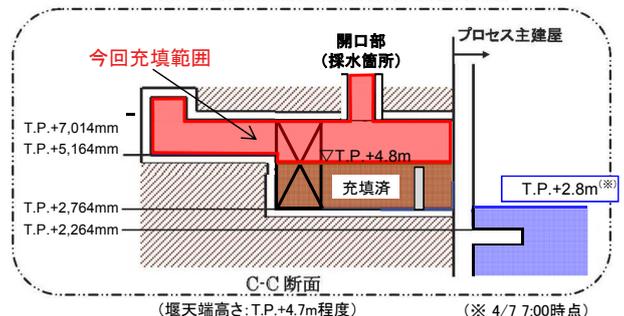
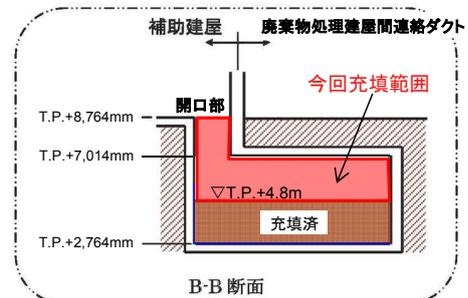
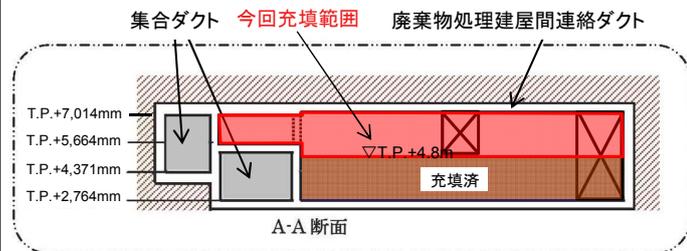
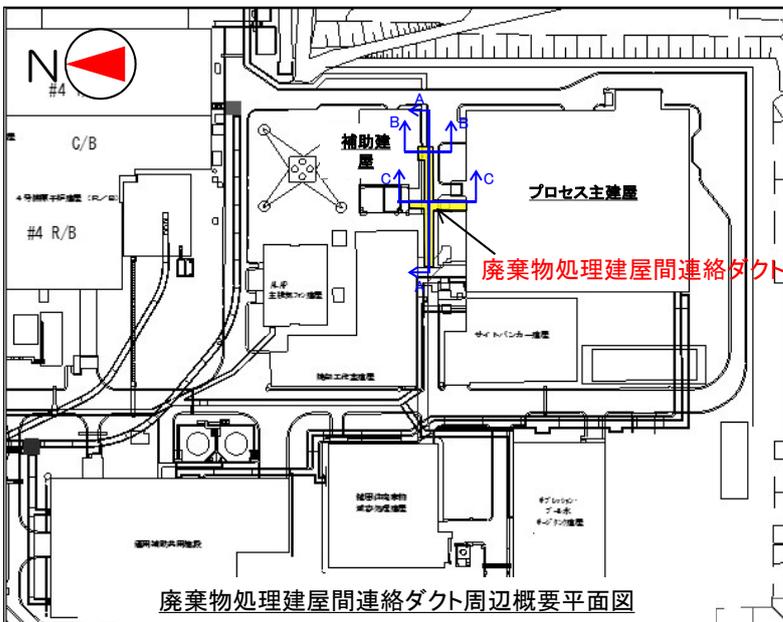
2017年4月27日



東京電力ホールディングス株式会社

廃棄物処理建屋間連絡ダクトの監視結果と今後の対応

- 廃棄物処理建屋間連絡ダクトについては、2015年度の溜まり水点検結果において、 10^5 Bq/Lレベル(2014年度比 約4,000倍)となっていたため、原因究明を目的とした水抜きを実施しましたが、汚染水の流れ込みは確認されませんでした。その後、2016年6月に水抜きが完了した以降も監視を継続しました。監視の結果、汚染水の流れ込みはなく、滴下程度のごく少量と推定される雨水流入があることを確認しました。
- ダクト内の溜まり水が増加するリスクを考慮し、全体を閉塞することとします。(実施予定時期:2017年6月~7月)



未対策のトレンチについては、2017年度も引き続き、滞留水がある建屋に接続しているトレンチ等を中心に、定期的に溜まり水点検を実施し、状況把握を行うと共に、溜まり水の放射性物質濃度、水量、現場状況等を勘案し、順次、溜まり水の除去や充填等の対応を計画していきます。

2017年度着手予定のトレンチと主な選定理由・着手時期

設備	主な選定理由	着手時期
1・2号機共通配管ダクト	濃度・建屋流入リスク	2017.4
廃棄物処理建屋間連絡ダクト	濃度	2017.6
1号機海水配管トレンチ	濃度・水量	検討中
集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	濃度・水量	検討中

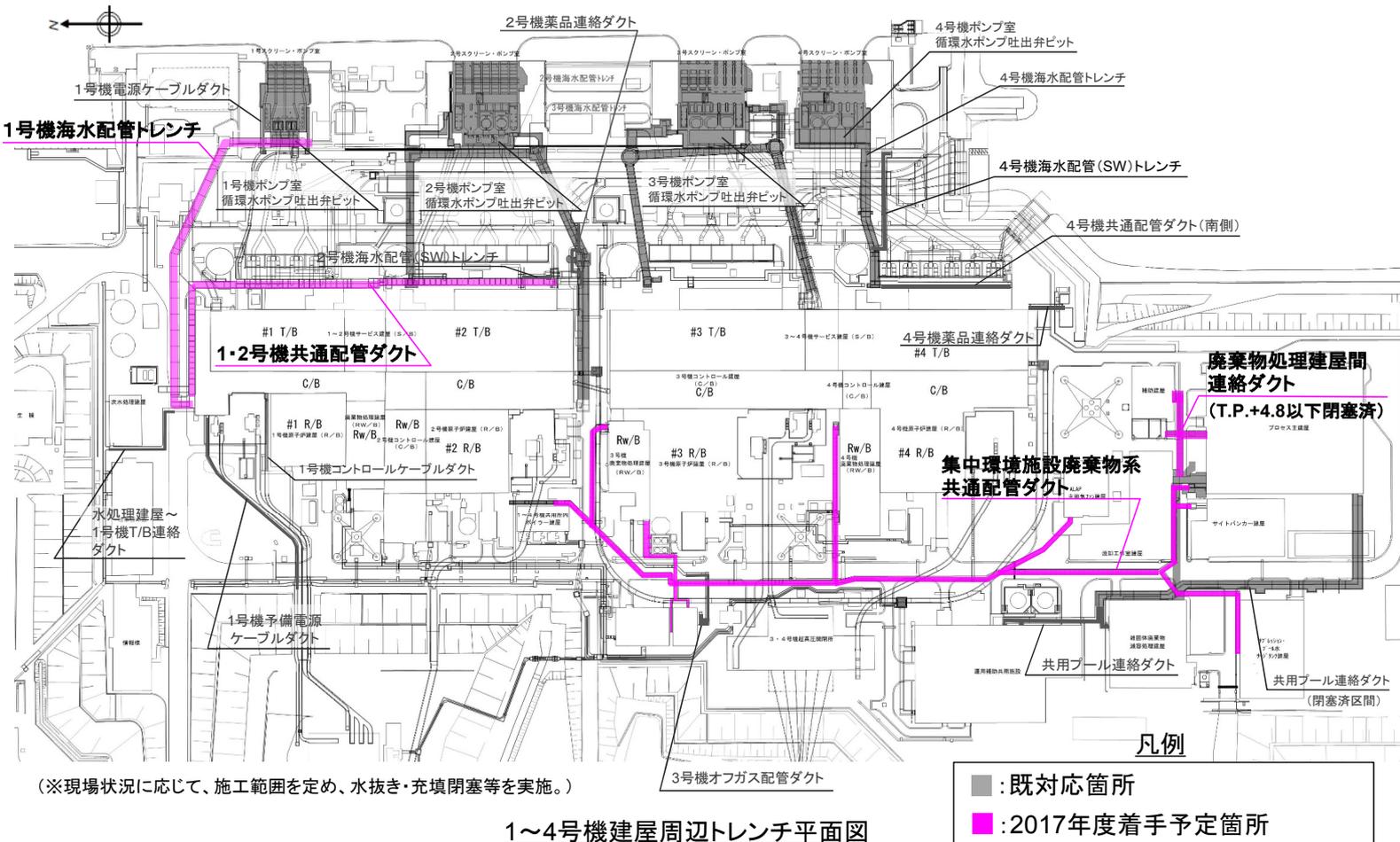
【参考】これまでに充填・閉塞等の対応を行ったトレンチ（一覧）

No.	名称	完了時期
1-15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2012年4月
1-24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2012年5月
1-34	共用プール連絡ダクト(高濃度汚染水確認範囲)	2013年2月
1-11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2015年11月
1-32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	2015年11月
1-39	4号機海水配管トレンチ	2015年12月
1-9	1号機コントロールケーブルダクト※	2016年3月
1-37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト※	2016年6月
1-18	2号機海水配管(SW)トレンチ	2016年6月
1-4	1号機電源ケーブルトレンチ(O.P.+4.000)※	2016年7月
1-25	3号機オフガス配管ダクト(北側)※	2016年8月
1-1	水処理建屋～1号機T/B連絡ダクト	2016年8月
1-5	1号機予備電源ケーブルダクト	2016年9月
1-30	4号機薬品タンク連絡ダクト	2016年10月
1-20	2号機薬品タンク連絡ダクト	2016年11月
1-40	共用プール連絡ダクト	2016年12月
1-31	4号機海水配管(SW)トレンチ	2016年12月
1-36	4号機共通配管ダクト(南側)	2016年12月

(※ 部分充填)

(): 2015年度点検以降に対応を行ったトレンチ等)

【参考】トレンチの対応状況(平面図)



【参考】2016年度溜まり水点検結果

- 今回のトレンチ等内の溜まり水の点検は、福島第一原子力発電所敷地内のトレンチ、ダクト並びにピットのうち、滞留水がある建屋に直接接続するトレンチ等26設備を対象に点検を行いました。(2016.10～2017.1実施)
- 溜まり水が確認されたトレンチ等14設備について、溜まり水のCs濃度はすべてC区分(10^4 Bq/Lレベル以下)で、既往の調査からの有意な変化はありませんでした。

状況区分	溜まり水の放射性物質濃度(Cs)・区分	2016年度点検結果
溜まり水あり	10^6 Bq/Lレベル～	A 0
	10^5 Bq/Lレベル	B 0
	10^4 Bq/Lレベル	廃棄物処理建屋間連絡ダクト 1
	10^3 Bq/Lレベル	1・2号機共通配管ダクト(1号機北側) 2
	～ 10^2 Bq/Lレベル	1・2号機共通配管ダクト(1号機東側), 1・2号機共通配管ダクト(2号機), 1号機海水配管トレンチ, 11
溜まり水なし	ND 0	
溜まり水なし	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト 2	
調査困難		10
計		26